

令和4年度始良地区歯科医師会学会開催について（ご案内）

拝啓 晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、本会では、毎年12月に会員の知識技術の向上を図り、地域住民の口腔の健康増進に寄与することを目的に学会を開催しておりますが、本年の特別講演につきましては広く地域の専門職、行政職の方においてもご参加いただけるよう開放することとなりました。

つきましては下記の通り会次第とサテライト会場配信用の zoom 登録 QR コード、URL をご案内させていただきます。

ご多忙のところ恐縮ではございますがご案内のほどよろしくお願いいたします。

特別講演は日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長、日本歯科大学 教授 菊谷武先生にお話しいただきます。

Zoom の仕様上、15 時より開始しております会員発表の段階からアクセスが出来ますが、こちらは一般開放しておりませんので、各会場においては 15 : 30 よりのアクセスをお願いいたします。

記

日 時 令和4年12月3日（土）15 : 30 ~

場 所 始良地区歯科医師会館 大会議室（及び web、各サテライト会場）
霧島市溝辺町麓 872-2（TEL : 58-4388）

参加費 無料

【特別講演】

日本歯科大学 教授

日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

菊谷 武先生

演題 : 「高齢者の口（くち）は どう老いていくのか

—そのメカニズムと評価、対応法—

※講師の菊谷先生は東京から Live 配信となり会場にはご不在ですのでご了承ください。

※質問は 11/19(土)までの事前受付制となっておりますのでご了承ください。



←サテライト会場配信用 QR コード ↓ 同 URL(同じ画面に繋がります。)

<http://bit.ly/3AQRYkv>

<特別講演>

【演題】「高齢者の口（くち）は どう老いていくのか —そのメカニズムと評価、対応法—」

【演者】口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学 教授 菊谷 武先生

【抄録】

人口の高齢化が叫ばれ、医療費、介護費の高騰が叫ばれる中、歯科は 60 歳代をピークに受診患者を大きく減少させています。人口構成が大きく変わり、歯科疾患の病態も急激に変化していくなか、歯科は外来診療を中心とした、ある意味限られた人へサービス提供を行っているにすぎません。

足腰の衰えがみられるように、すべての人に口腔機能の低下がみられます。「噛みにくい」を訴えてきた患者の原因をすべて歯の欠損や義歯の不適合、咬合の問題と考え対応してきた歯科には、大きな転換が必要となってきています。噛めない理由は「年のせい」であり、残念ながら回復する余地は乏しいと患者に伝える必要があります。8020を達成しても咀嚼障害患者が減らないことがこの事実を示しています。その根拠を示すのが舌圧測定であり、口腔運動機能検査となります。

外来診療室に訪れている患者のほぼすべては早晩に通院不可能になります。日本人は女性で 12 年、男性で 8 年もの長い間、『不健康寿命』とよばれる時期を過ごさなければなりません。この期間こそが、私たちが訪問診療で対応しなければならない時期です。この通院不可能時には、さらに、口腔機能は低下しており、どう支えていくのか？歯科にとって喫緊の課題だと思っています。

本講演では、口腔機能の低下を外来診療室から客観的にとらえ、的確に対応することによって、通院が困難になるときに備える必要性を解説します。

【略歴】

1989 年 日本歯科大学歯学部附属病院高齢者歯科診療科入局

2001 年 10 月 日本歯科大学附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター センター長

2005 年 4 月 日本歯科大学助教授

2010 年 4 月 日本歯科大学教授

2012 年 10 月 日本歯科大学付属口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

【主な著書】

『ミールラウンド&カンファレンス』医歯薬出版

『あなたの老いは舌から始まる—今日からできる口の中のケアのすべて』NHK出版

『チェサイドオーラルフレイルの診かた』医歯薬出版

『お口、弱っていませんか？噛みにくい・食べにくい歯科医院で相談できます 患者さんのためのオーラルフレイルと口腔機能低下症の本』医歯薬出版

『絵で見てわかる—認知症「食事の困った！」に答えます』女子栄養大学出版

『絵で見てわかる—入れ歯のお悩み解決』女子栄養大学出版

『食べる介護がまるごとわかる本』メディカ出版